

～フランス美術の愉しみ～
世紀末の美術
飛翔するイマジネーション



©モロー「出現」(部分)1876年/ゴーギャン「説教の後の幻影(ヤコブと天使の戦い)」(部分)1881年/ルドン「目を閉じて」1890年

19世紀の後半になると、印象主義など写実的な表現が時代をリードしますが、その一方では、人間の内面的な表現へと向かう画家も少なからずいました。今回は、豊かな想像力が脈打つこの「眼には見えない世界」を覗いてみましょう。

講師：柴 勤（フランス美術史講師）

土曜日 14時～15時30分 全6回

受講料：12,900円

要予約 定員10名

※日本語で行います。

※受講するには、札幌アリアンス・フランセーズの生徒登録が必要です。

- 1 10月11日 ピュヴィス・ド・シャヴァンヌと夢幻的世界
- 2 10月25日 ギュスターヴ・モローと神話的世界
- 3 11月08日 オディロン・ルドンの幻想的世界
- 4 11月22日 ポール・ゴーギャンとポン＝タヴァン派
- 5 12月13日 ピエール・ボナールとナビ派の仲間たち
- 6 12月20日 アルフォンス・ミュシャとアール・ヌーヴォー

参加ご希望の方は、札幌アリアンス・フランセーズまで。
札幌市中央区南2条西5丁目10-2 サンワードFビル2階
Tel：011-261-2771